

社会福祉法人 悠久会の障害者雇用に関する取組等

- ・職場適応援助者（ジョブコーチ）の取得
障害者の職場適応に関する専門的なノウハウを持つ人材を育成するため、社員2名が職場適応援助者（ジョブコーチ）を取得。当該社員は、障害者への支援や、上司・同僚への助言を実施している。
- ・障害特性に配慮した作業施設・設備等の整備
下肢障害者が移動しやすいよう、スロープや手すり、引き戸や自動ドアを設置。
- ・その他の健康管理・福利厚生
医療機関や協会けんぽ等を活用し、相談や体調が悪化したときに適切な支援につなげられるように、会社外のサポート体制を構築し、実際に職員も健康管理目的とした面談を実施している。（障害の有無や雇用形態にかかわらず利用可）
- ・障害者の職場実習生の受入れ
「県南障害者就業・生活支援センターぱれっと」と連携し、障害者入所施設の銀の星学園にて職場実習を実施した。実習内容は、障害者入所施設の清掃作業を体験させる内容となっている。
- ・障害者雇用に関する先進的な他企業の見学・ヒアリングの実施
医療法人清明会 障害福祉サービス事業所P I C F A（ピクファ）への事業所見学を実施した。主に、人事担当や実際に障害者を配置しようと考えている部署の社員が参加をし、事業所見学で得た好事例等の情報を、障害者を雇用する業務や部署の拡大の検討、求人内容充実のための参考として、活用を図った。
- ・実雇用率が法定雇用率の2倍以上
令和4年6月1日時点における常用雇用労働者数は233.5人、雇用障害者数は13.5人であり（うち身体障害者：4.5人、知的障害者：3.0人、精神障害者6.0人）、実雇用率は6.18%となる。（法定雇用率は2.3%）
- ・過去3年間に雇い入れた障害者の雇入後6か月（及び1年）経過時点の定着率が90%以上（及び80%以上）
過去3年間に雇い入れた障害者は1名であり、定着率は100%である。
- ・勤続年数が10年以上の障害者が半数以上
4名中3名（実人員。A型利用者を除く。）が勤続年数が10年以上であり、最も勤続年数が長い従業員については、勤続年数が43年となっている。